

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

令和最初の日 - 2019.05.01 Wed

A Happy New REIWA !

というわけで。

今日は令和の初日です。

元号の切り替わりというのは、人生に数回あるかないかの体験ですし、新しい物事を始めるのにピッタリな節目ですよ。

そんなわけで私も、新元号のビッグウェーブに便乗して、今月から資格の学校へ通うことを決めました。

目指すは税理士です。

今はとりあえず予習中。



税理士試験は全 11 科目あるのですが、資格認定されるためにはそのうち 5 科目に合格する必要があり、2 年~5 年かけて取るのが一般的です。

自分が申し込んだのは 3 年コース。

本当は 2 年が理想ですが、働きながらなので、3 年かけて頑張ります。

おそらく険しい道でしょうが、失敗してもこれ以上失う物もないのだし、今から新しい夢を追ってもいいじゃないかって思うんですよ。

アラサーだろうがアラフォーだろうが、自分の足もとに線を引けば、いつだってそこがスタートラインになるわけで。

そういうわけで心機一転、平成の教訓は忘れず胸に刻み付けて、これから始まる新しい自分に出会いに行きたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回は小学館ジュニア文庫小説賞についてご紹介。

すでに第5回となったお馴染みの賞ですが、今回から新しい部門として、17歳以下向けのU-17賞が新設されました。

【ジュニア文庫小説賞 & U-17 賞】

<https://juniorbunko.jp/oubo/>

- ・ 募集内容 小学生向けのエンタテインメント小説
- ・ 受付期間 2019年4月20日(土)～8月30日(金)
- ・ 規定枚数 50～85枚(40字×28行)
- ・ 応募方法 郵送 or ウェブ応募

U-17賞は2001年1月以降に生まれた方が対象ですが、受付期間や枚数は本体と変わらず、グランプリを受賞すれば文庫デビューも可能です。

ちなみにジャンル不問ですが、例にあるのは「恋愛・ファンタジー・謎解き・ホラー」で、恋愛が筆頭に来ている模様。

小学生向けの恋愛小説……？

いったい何を書いたらいいんだ……？

逆にネタ選びが難しいですが、19年間付き合った旦那が行方不明になった挙げ句一方的に離婚届を送り付けてくるような恋愛(?)話は、小学生は喜ばないですよ。

てかそんな話だれも喜ばねえよ！

フィクションじゃなく実話だから笑えねえな！

という微妙なオチがついたところで今回はこれで失礼します。

小学生向けの恋愛小説って？
そもそも小学生は恋愛するの？

と考えているうちに自分の過去を思い出したので今回はその件を。

私が小5の時ですが近所の小6の先輩に憧れてました。
ただ学年が違うから直接話すチャンスとかは全然なくて。

しかしある時、私が図書委員になったらその先輩も図書委員で、ジャンケンやら偶然が重なって当番でペアを組むことになりました。

これはもうコロンビアポーズですよ。
もちろん当時そんなスラッグはありませんが。

ちなみに当番の仕事は図書室の受付でした。
昼休みの20分間2人並んでカウンターに座るわけです。

まあしょせん小学生なので、話す内容は「暇だね」とかその程度ですが、そのうち図書室以外でも話しかけてもらえるようになって、小さな胸が大変ときめいたことを覚えています。

別にそれだけの話ですし、その後は先輩が卒業して終わりですが、大人になってからの恋愛が散々だったことを考えると「小学生の恋愛だって悪くない、いやむしろ小学生の方がいい」という結論に達しました。

だってほら、それなら離婚届が届くこともないですし！（しつこい）

とにかく小学生には小学生の、大人には大人の恋愛ドラマがあるわけで、それをしっかり表現するのが執筆において大切なのかなと思います。

こんにちは、らくだです。

しつこいですが今回も小学生の恋愛について考察します。

まず当たり前ですが、中年の自分から見たら、小学生は子供です。

だって小5も小6も単なるガキじゃないですか。

間違ってもそんな年齢の男児にときめいたりしませんよ。

しかし当時を振り返ると、小5の自分から見た小6の先輩は、ものすごく「大人の男性」に見えたわけです。

皆様もそんな経験ないですか？

上級生ってすごく大人っぽく見えましたよね？

とにかく小学生の恋愛話を書く時は、大人目線じゃなくて、小学生自身の目線になるべきだなと。

例えばキスシーンを書くとしたら。

どちらの目線で書けばフレッシュな描写ができるでしょう。

大人の自分目線

「小学生の恋愛って何書きゃいいんだ。カラダの関係は当然ないよな。あってもチューくらいじゃね？
じゃあここでキスシーン入れるか」

小学生の自分目線

「K先輩ともっと話したいな。できれば手も繋ぎたいし、キ、キスとかも……ってそんなのナイナイ！なに考えてんのよキャー！（照）」

例なので極端に差を出しましたが、下のテンションで執筆した方がフレッシュな描写ができるだろうし、書いていてワクワクしますよね。

とまあ色々語りましたが、「こんなもんだらう」という大人目線が混入すると、小学生の共感を呼ぶ作品にはならないと思うので、そこをしっかりと注意するのが大切じゃないかなと考えました。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドが賞金獲得レースの参加者を募集中です。
小説投稿本来の趣旨からは外れますが面白いのでリンクを紹介。

半年間にゲットした賞金の総額を、5名の芸人さんと競い合うという、バラエティ番組のような企画です。

【賞金獲得レース】

<https://www.koubo.co.jp/race/>

- ・ 募集人数 読者枠 10 名
- ・ 挑戦資格 公募や投稿が大好きな方
- ・ 応募締切 2019 年 5 月 7 日（火）
- ・ 活動期間 2019 年 5 月～10 月の半年間
- ・ 結果発表 公募ガイド 2020 年 1 月号
- ・ 参加特典 成績上位 5 名に 5,000 円進呈

仮に電撃で大賞を受賞したら 300 万円ゲットですよ。
ただそれだと時間も労力もかかるし現実的には難しいです。

となると、手が届きそうな短編の賞をメインで狙うのもアリ。

また公募は小説の賞に限らないので、例えば「ゆるキャラの名前募集」みたいな企画に応募して、細かい謝礼を積み重ねていく戦略もありそうです。

なお自分が参加者だったら、一発勝負でビッグな賞に挑戦したけど落選して最下位という、残念だけど芸人的に美味しいポジションを狙いたいですね！

というわけで公募ガイドの賞金獲得レースの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムのチーム対抗 PV 争奪戦ですが、ゴールデンウィークの期間中、2 日毎に中間経過が UP されました。

【中間経過 1・4/28】

【中間経過 2・4/30】

【中間経過 3・5/2】

【中間経過 4・5/4】

【中間経過 5・5/6】

中間経過を UP してるってことは、GW 前に準備した予約投稿じゃなくて、中の人働いてたんでしょね。

超お疲れ様です……。

ゆっくり休んでください……。

それはそうと現在の経過はこんな感じ。

左から「参加作品数・全体に占める PV 割合・ジャンル」です。

261 作品／ 52 % 「異世界ファンタジー」

544 作品／ 41 % 「現代ファンタジー」「ラブコメ」「恋愛」「SF」

713 作品／ 7 % 「現代ドラマ」「ホラー」「ミステリー」「エッセイ・ノンフィクション」「歴史・時代・伝奇」
「創作論・評論」「詩・童話・その他」

作品数は少ないのに PV の半数以上を占める異世界ファンタジー。

やはりネット小説はこのジャンルの独壇場という感じがしますね。

ここまで明確に差がつくと、緑ジャンルが気の毒になるレベルですが、とにかく 5 月 8 日の最終発表を見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ファミ通文庫大賞の締切が5月10日に迫っています。
今さらですがここで改めて応募要項のリンクを紹介。

【応募要項】

<https://kakuyomu.jp/contests/famitsu.2019/detail>

そして本日重要な追加情報が発表されました。
規定字数を外れている作品の扱いについてです。

オレは規定字数しっかり守ってるよ〜という場合も一応目を通しておくのがよろしいかと思います。

【ファミ通文庫大賞の文字数規定に関して】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/05/07/170000>

規定字数

- ・ 締切時点で本文が10万字～16万字
- ・ 今回は約1万字程度の未達・超過については許容とする

というわけなので、だいたい9万字～17万字程度なら、選考してもらえるとということです。

ただしあくまで許容ですし「1万字程度」という表現もアバウトなので、本来の規定字数である10万字～16万字に収めるのが理想と言えそうです。

なお応募要項にこの件の追記はなく、カクヨムブログを読んでいない人は気付かないと思うので、念のためここで紹介してみました。

こんにちは、らくだです。

カクヨムの GW 特別企画「チーム対抗 PV 争奪戦」の結果が UP されました。

【チーム対抗 PV 争奪戦・結果発表】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kakuyomu_gw2019_result

1 位 257 作品 / 52 % 「異世界ファンタジー」

2 位 534 作品 / 42 % 「現代ファンタジー」「ラブコメ」「恋愛」「SF」

3 位 701 作品 / 6 % 「現代ドラマ」「ホラー」「ミステリー」「エッセイ・ノンフィクション」「歴史・時代・伝奇」「創作論・評論」「詩・童話・その他」

あれ……？

中間経過よりも作品数減ってませんか……？

終わった瞬間に焦ってタグ外しちゃった感じでしょうか（汗）

それはそうと結果は異世界ファンタジーの圧勝でした。

体感でもそんな気はしましたが数字ではっきり証明されたわけです。

緑チームは結果的に 3 位でしたが、闘病記だったり豆知識の披露だったり、カクヨムをブログのように使っている人が多いのが印象的でした。

そういう使用方法も当然アリですよ。

自分はブログ大好き（書く方も読む方も）ですし賛成派です。

カクヨムは写真がアップできないので、らくだ図書館は今のところ移動しませんが、これからもっとブログ系ジャンルにも注目が集まるといいなと思います。

以上、チーム対抗 PV 争奪戦の結果発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

電撃の締切から早くも1か月が経過しました。
投稿者の皆様はそろそろ新作を書き始めた頃でしょうか。

来年の締切はまだ先ですが、本日第27回の応募要項が公開されたので、リンクを掲載しておきます。

【応募要項】

http://dengekitaisho.jp/novel_apply.html

確認したところ特に大きな変化はありません。
相変わらず紙原稿による郵送応募も大丈夫です。

そしてさらに。
編集者によるワンポイントアドバイスが更新されました。

各項目について3人の編集さんがコメントしています。
電撃の投稿者で未読の方がいれば是非ともチェックを。

【ワンポイントアドバイス】

http://dengekitaisho.jp/novel_advice.html

1. ストーリーをおもしろくするためのポイント
2. 引き込まれる設定を作るためのポイント
3. 魅力的なキャラクターを作るためのポイント
4. オリジナリティある作品を作るためのポイント
5. 文章力をアップさせるためのポイント

執筆の手が止まった時に読むと、創作意欲が刺激されると思うので、電撃以外の投稿者さんも良ければ確認してみてください。

こんにちは、らくだです。

金曜日はウェブコバルトの更新日。

と思ってサイトを見たら大幅なリニューアルがありました。

今までごちゃごちゃしていましたが、ページを読者用と投稿者用に分けたことによって、全体的にととても見やすくなっています。

【Web マガジン Cobalt】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/>

新着ニュースがトップに来たのもいいですね。

今まではサイトの最下部で探しにくかったですからね。

それから、コバルト文庫の姉妹レーベルとして、オレンジ文庫とシフォン文庫の新着情報が表示されるようになりました。

オレンジ文庫はまあ当然でしょう。

ノベル大賞を共催している正真正銘の姉妹レーベルです。

しかしシフォン文庫！

お前はエロレーベルだろ！

コバルトに表示していいのかよ！

と突っ込みたいですが、えんためも R18 のコンテスト開催してますし、ひょっとするとコバルトもその流れに乗ったのかもしれませんが。

ちなみに現在シフォン文庫は作品募集を停止中ですが、もし再開することがあればここで紹介したいと思います。

名探偵コナンの映画を観たのですが、10年前シンガポールに住んでいた自分、エンディングの実写映像でガチ泣き。

なんかもう幸せだった頃の記憶がバーッとね……。その後の人生が色々大変だったから余計に胸が……。

ところで映画で吐血していたマーライオンですが、実はあの有名な1体だけじゃなく、シンガポールのあちこちに像があったりします。

自分が知っているのはとりあえず6体。せっかくなので写真つきで紹介しましょう。

【元祖マーライオン】



【ミニマーライオン】



【キリッとしたマーライオン】



【白目のマーライオン】



【サルっぽいマーライオン】



【ワイルド系マーライオン】



最後のだけ明らかに進化の方向が違いますよね。
しかも草むらの中に隠すように設置されているという。

とにかくシンガポールは最高に素敵な場所なので、たくさんの人に訪れて欲しいし、自分もチャンスがあれば是非また行きたいです。

こんにちは、らくだです。

マーライオンの記事が好評で久しぶりに拍手が来ました。
これはやはりオチに使った6体目の彼が良かったのでしょうか。

ところで私事ですが5月から転職しました。
今回は自分の席が与えられてひとまず安心しています。

いやね。
4月までいた職場では席がなかったんですよ。
以前も文句を書いたんですがこれが本当にやりにくくて。

毎日その日の空席を使うんですが、パソコンによって設定が違うし、人によっては机の上が汚いし、画面に恋人とのラブラブ写真（）が貼ってあったりするし。

そんなわけでただでさえウンザリなのに、その上ボールペン盗んだとか決めつけられて、温厚な私もさすがに「は？」みたいな。

こんな風に業務と無関係な部分でイライラするのバカらしいじゃないですか。
そのせいで仕事の能率が落ちてしまったら本当に救いがたい悪循環というか。

とりあえずまだ一週間ですが、今回の職場はそんな雰囲気ではなさそうなので、そこにはだいぶ安心しました。

あと資格の予備校。
これも今月から始めて仕事後に通っています。

3年間も継続できるか不安ですが、始める前から諦める理由もないですし、前向きに取り組みたいと思います。

こんにちは、らくだです。

公募ガイドの最新号を読みましたが、自分のあいうえお作文は今月も不採用で、雑誌に載る難しさを改めて痛感している次第です。

でもそこが公募の面白さでもあるんじゃないかと。

落選するとその瞬間はガッカリしますが、次はもっといい作品を送るんだというモチベーションに繋がりますし、逆境もなるべく楽しんでいきたいです。

というわけで。

来月のお題は「かみかざり」だそうです。

【公募ガイドファンクラブ】

<https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/oubo/fanclub/fanclub.html>

下の句の「ざ」が難しい……！

ここはもうあの単語を使うしか……！

か・書きたいと

み・みなぎる意欲

か・隠さない

ざ・ザビエル萌えに

り・理由などない

まあザビエルの是非はさておき、作者に好きな属性（性格なり職業なり）があるならば、それを思いっきり書き切るのって大事だと思うんですよ。

そもそも自分を表現するのが創作ですからね。

これからも恐れず隠さず情熱をぶつきたいです。

こんにちは、らくだです。

5月10日が締切だったファミ通文庫大賞ですが、カクヨム公式ブログで応募数が発表されました。

なんと 2,391 作品だったとか。
予想以上に多くて驚いています。

【ファミ通文庫大賞の応募数】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2019/05/13/170000>

念のため補足しておく、えんため大賞ファミ通文庫部門がリニューアルして、今回からファミ通文庫大賞（カクヨム開催）に生まれ変わりました。

えんため時代の応募数は次の通り。
実を言うと 5 年連続で減少中でした。

- ・ 第 16 回 758 作品
- ・ 第 17 回 652 作品
- ・ 第 18 回 619 作品
- ・ 第 19 回 533 作品
- ・ 第 20 回 520 作品

この流れからの 2,391 作品ですよ！
応募数ウルトラアップじゃないですか！

まあネットコンテストは、既存作品のタグ付け参加も多いので、これだけ一気に増えたのも必然と言えば必然ですね。

なお中間発表は 8 月らしいので結果が出たら紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第8回角川つばさ文庫小説賞の応募要項が公開されました。
今回も引き続きカクヨム応募&魔法のiらんど応募が可能です。

それぞれの詳細は下記サイトをご覧ください。
ちなみに受付開始は7月なのでフライング投稿に注意。

[【公式サイト応募要項】](#)

[【カクヨム応募要項】](#)

[【魔法のiらんど応募要項】](#)

- ・ 募集内容 9～13歳の児童を対象としたエンタテインメント小説
- ・ 応募方法 郵送 or ウェブ or カクヨム or 魔法のiらんど
- ・ 受付期間 2019年7月1日(月)～8月31日(土)
- ・ 結果発表 2020年3月予定

なお応募方法によって規定字数が微妙に違います。
郵送応募は少数派だと思いますが特に細かいので気を付けましょう。

- ・ 郵送応募(手書き) 400字詰原稿用紙で200枚～280枚
- ・ 郵送応募(データ原稿) 40字×28行で70枚～100枚
- ・ ウェブ・カクヨム・魔法のiらんど応募 7万字～10万字

角川つばさ文庫は児童向けレーベルですが、要項ページに「近年の応募作が小さくまとまったストーリーになっていることが気にかかっている」とあるので、思い切った作品が求められている感じです。

もちろんそれは児童向け以外でも大事なことなので、自分も小さくまとまらないよう気を付けたいです。

こんにちは、らくだです。

転職してようやく 10 日が過ぎました。
拍手や応援コメントありがとうございます。

このブログは小説投稿ブログですが、投稿とまったく関係ない私生活まで応援してもらえ、思わず心がほっこりする気分です。

さてさて。
ほっこりと言えばこんなコンテストを見つけました。

【『心に響く』エッセイコンテスト】

https://grapee.co.jp/grape_award.html

- ・ 募集内容 『心に響く』がテーマのエッセイ
- ・ 規定字数 1,000 字～1,500 字
- ・ 投稿締切 2019 年 9 月 30 日（月）
- ・ 結果発表 2019 年 12 月上旬予定
- ・ 応募方法 ウェブ応募（テキストファイル）
- ・ 受賞特典 賞金 20 万円&記念品（最優秀賞 1 名）

ちなみにらくだ図書館が約 500 字、電撃大賞のあらすじが約 800 字なので、それより少し多く書けば規定字数に到達します。

それで賞金 20 万円って多いですね。
もちろん最優秀賞に選ばれるのは簡単ではないと思いますが。

何はともあれ、心に響く体験は誰しもあると思うので、皆様も素敵なエピソードを投稿してみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

スターツ出版が第1回ベリーズカフェファンタジー小説大賞を開催中です。

去年までは小説家になろう開催でしたが、今年はスターツ出版自身が運営する小説投稿サイト「ベリーズカフェ」での募集に変わり、応募要項にも何点か変更が加わりました。

【応募要項】

<https://www.berrys-cafe.jp/pc/gp/?gpld=10>

- ・ 受付期間 2019年3月13日（水）～8月20日（火）
- ・ 規定字数 制限なし（ただし5万字～12万字を推奨）
- ・ 応募条件 締切までに完結している作品（締切後は誤字脱字のみ修正可）
- ・ 参加方法 ベリーズカフェに作品を載せ「F大賞1」「F大賞2」のタグを設定

募集部門は以下の2つ。

詳細は公式サイトをご覧ください。

ヒストリカルロマンス部門

- ・ 西洋、和風、中華など歴史的背景を舞台とした恋愛ストーリー
- ・ 例1 イケメン皇帝とウブな王女の政略結婚
- ・ 例2 ドSな騎士団長から溺愛されるストーリー

異世界ファンタジー部門

- ・ 異世界へのトリップや転生など架空の世界が舞台のストーリー
- ・ 恋愛の「ドキドキ」に加え異世界で活躍する「ワクワク」が得られる作品
- ・ 例 ご飯もの・悪役令嬢・スローライフなど

以上、第1回ベリーズカフェファンタジー小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

ノベル大賞 2019 の 2 次発表がありました。

1 次通過 471 本の中から 2 次通過したのは 191 本。

お名前の掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

なに……？

23 本通過者の名前がない……だと……？

というわけで、例の投稿者さんは通過しなかったようですが、それでも今回の件は投稿界の歴史に刻まれる偉業だったと思います。

だって 23 本ですよ？

1 か月に 2 本仕上げる（12 か月連続）というペースですよ？

時間と労力が大量に必要なのは当然として、それプラス、溢れ出る情熱がなければ絶対に不可能です。

情熱って車で言えばガソリンだと思うんですよね。

どれほど高性能な車でもガソリンがなきゃ走れないじゃないですか。

自分もブログをするくらい小説投稿は好きですが、それほどの情熱があるか問われると自信がないし、例の通過者さんを素直に尊敬したい気持ちです。

ともかくこれで 2 次発表は終わりました。

次は 6 月の 3 次発表を楽しみに待ちたいです。

久しぶりのインドカレー - 2019.05.19 Sun

今週の勉強終わったー！

今日は久しぶりに出掛けちゃうぞー！

というわけでインドカレーを食べてきました。

向かった先は地元高槻の「タージマハル エベレスト」。

JR 高槻駅西口から北へ 10 分ほど歩いた場所にあります。



今回は 11 時の開店と同時に飛び込んだので自分が一人目でした。

すっげーやる気ある客に見えたかもしれませんね。

いやまあ実際に食べる気満々で来たわけですけど。

注文したのはBランチ（980 円）。

店内のインド音楽を聴きながら待っていると料理が運ばれてきました。



- ・ サラダ
- ・ スープ
- ・ チキンカレー
- ・ 日替わりカレー（本日はベジカレー）
- ・ ナン
- ・ ミニライス

・1ドリンク（ホットチャイを注文）

ナンはふっくら厚め系。

カレーはクセがなくマイルドで食べやすい。

全体的にいい意味で王道で、これなら「今日はインドカレー食べるんや」と一大決意しなくても、平日のランチなどに気軽に利用できそうな味&雰囲気でした。

ただ平日はなー。

仕事あるからなー。

と思って検索したら梅田にも系列店がある模様！

やったねこれで毎日インドカレー食べられるよ！

というわけで次は梅田店へランチに行ってレポートしたいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回は公募ガイドの「入賞作品から学ぼう！」という特集をご紹介します。

エッセイの冒頭と終わり方に関する考察ですが、小説にも使える内容だと感じたので、大事そうな部分を独断と偏見で書き出しました。

【「入賞作品から学ぼう！」特集】

https://www.koubo.co.jp/news/190221_01

1 状況を説明してオチをつける

- ・ストレートに状況説明で始めるパターン
- ・読み手が内容を把握しやすいのがメリット
- ・説明に終始しないよう最後はしっかりオチを

2 セリフで始めまとめで終わる

- ・冒頭に印象的なセリフを持ってくるパターン
- ・インパクトがあり読者の興味を惹きつけやすい
- ・最後はくどくならないよう簡潔に全体をまとめる

3 始まりも終わりも同じセリフ

- ・冒頭は2と同様にセリフで始める
- ・文中で詳細説明をして最後に同じセリフを配置
- ・そこに込められた意味が伝わって感動や余韻を与えられる

4 書き出しと終わりが対になっている

- ・最初と最後であえて真逆の行動を取らせる
- ・主人公の成長や心情の変化を浮き彫りにできる
- ・個人的には小説ですごく効果的なパターンだと思う

創作にこうじゃなきゃいけないという決まりはないですが、小説もエッセイも人に読んでもらう文章である以上、伝わりやすさを意識するのはとても大事なことですよね。

自分もこの考察を日々のブログに活用したいと思いました。

こんにちは、らくだです。

恒例となったビーンズ大賞ジュニア部門。
今年も引き続き開催するよう応募要項が発表されました。

受付開始は10月からで、まだ4か月以上もあるのですが、これは今から念入りに準備しろという意味でしょうか？

【応募要項】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/entry-1363.html>

- ・テーマ 「音楽」「学校」「夢」から1つ選択
- ・受付期間 2019年10月1日（月）～2020年1月10日（木）
- ・規定枚数 400字原稿用紙換算で50枚まで
- ・投稿方法 郵送のみ受付、ウェブ応募不可
- ・応募条件 1人1作品のみ、複数応募不可
- ・年齢制限 2020年1月10日時点で18歳以下であること

10代ばかりなんてズルい！
それなら大人だけの部門も作ろうよ！

とほんの一瞬思いましたが、ビーンズ大賞アラフォー部門とか開催されても、応募はきっと集まらない。

そんなん受賞しても悲しいじゃないですか……。
いやもちろん私が送っても受賞できないだろうけど……。

冗談はさておき、ジュニア部門の受賞作は毎年読んでますが、10代のフレッシュな感性はなかなか狙って真似できるものではないですね。

今年はどんな作品が読めるのか今から早くも楽しみです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムプライベートコンテスト Vol.03 の結果発表がありました。

今回の募集テーマは「魔法×ミステリ」で応募数は 102 本。

一見難しそうなお題でしたが、魅力あふれる力作が集まったようで、賞と賞品が追加されています。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/info/entry/private_con003_result

入選者の皆様はおめでとうございます。

わざわざ賞品を追加するなんてカクヨムさん太っ腹。

ところで選評を読んだのですが。

今回の選考ポイントはずばり「魔法の制約」の扱いだったということです。

確かに制約って大事ですよ。

どのジャンルでも重要ですがミステリは特に。

たとえば密室殺人事件を書いておきながら、オチが「魔法で壁抜けして侵入しました！」だったら興奮めだし、そもそもミステリを書く意味がないというか。

まあ今の例はさすがに安直ですが、魔法で何でも出来ちゃったら逆に面白くないですし、設定にしっかり制約をつけた上でそれを上手く扱うことが鍵なのかなと思いました。

なおカクヨムプライベートコンテストは、今後も不定期で続くようなので、次はどんなお題か楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

前に紹介した公募ガイドの賞金獲得レースですが、参加芸人さんのインタビューが公開されました。

それぞれ意気込みや狙うジャンルについて語っています。

さすが芸人さんだけあって皆さんインタビューも面白いです。

【賞金獲得レース】

<https://www.koubo.co.jp/race/#panel-3>

早速すべて読んできました。

中でも印象的(?) だったのは、あこうテックさんのインタビュー。

狙っていく賞として、フランス書院文庫官能大賞の話が出てるんですが、既刊のエロ小説を読んだら「最初の2ページ目にやりだして最後のページまでずっとやってたんですよ」という。

いや丸1冊とか何時間のプレイだよ！

長けりゃいいってもんじゃねえからな！

と全力で突っ込みたいですが、じゃあお前書けんと言われたら自分は書けないので、それだけで1冊仕上げるのもそれはそれですごい才能なのかもしれないと思いました。

話がだいぶそれでしたが、読者枠10名も決定したようで、参加者の情報はただ今準備中となっているようです。

公募なら何でもOKの企画ですが、小説の投稿者さんがもしいたら、同志として応援したいと思います。

こんにちは、らくだです。

まだ5月なのに最近汗ばむような暑さですね。
今の仕事はスーツ勤務なので今から夏が心配です。

ところで夏といえば甲子園。
甲子園といえばカクヨム甲子園 2019 が今年も開催決定しました。

詳細は6月上旬発表ですが、応募要項が先行公開されているので、リンクを貼っておきます。

【カクヨム甲子園 2019】

<https://kakuyomu.jp/special/entry/kakuyomukoshien>

- ・参加資格 募集開始時点で高校生であること
- ・受付期間 2019年7月19日（金）～9月16日（月）
- ・中間発表 2019年11月22日（金）
- ・最終発表 2019年12月27日（金）

今年は麒麟レモン賞（賞品：麒麟レモン 240本）はあるのでしょうか。
年齢制限で参加できない私の関心事はただひたすらそれに尽きます。

だって240本だよ！
絶対インスタ映えするじゃん！
お前んち麒麟レモンの倉庫かよみたいな！

なお上にも書いた通り、賞や賞品については6月上旬発表なので、麒麟レモン賞が今年はどうなるか楽しみに待ちたいです。

以上、カクヨム甲子園 2019 先行情報の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ビーンズ大賞の読者審査員の募集が始まりました。

選出されると最終候補作を読んで読者賞の審査をすることができます。

詳細は以下。

活動期間は7月中旬～8月となっています。

【読者審査員募集】

<https://beans.kadokawa.co.jp/blog/award/18th-award/entry-1576.html>

- ・ 募集期間 2019年5月24日（金）～6月20日（木）
- ・ 結果連絡 選出者のみ2019年7月中旬に連絡
- ・ 活動期間 2019年7月中旬～8月中旬

応募条件は次の3つ。

今までは郵送受け渡しでしたがメールに変わったみたいです。

- ・ ビーンズ文庫が大好きな方
- ・ 守秘義務を守っていただける方
- ・ メールでの原稿データの受け渡しが可能な方

私も前から興味はあるのですが、自分の年齢だと一般的なビーンズ読者とは言えないので、弾かれそうな気がしますよね。

一般的じゃないなら何やねんって話ですが。

あえて言うなら熟年ワナビ的ビーンズ読者って感じでしょうか。

以上、ビーンズ読者審査員募集の話題でした。

カクヨムで秋ごろ導入予定の「ユーザー収益化プログラム」に関する FAQ が掲載されました。

以下リンク。

重要な内容なのでカクヨムユーザーの皆様は是非チェックを。

【ユーザー収益化プログラムについて】

https://kakuyomu.jp/info/entry/qa_mid-term_plan

(1) 収益の受け取り方法は？

現金で還元する予定。

(2) 広告掲載で作品が読みにくくならない？

広告の掲載位置は念入りに検討しローンチ後も継続的に見直す予定。

(3) 広告掲載によって収益を得た場合、商用利用された作品として扱われ、新人賞に応募できなくなるのでは？

今回の取組は広告費という形ではなく、書き手の活動を「カクヨムへの貢献度」という形で、作者に還元するものを予定している。そのため作品の商用利用にはあたらないとカクヨムでは判断している。

(ただし賞によって基準が違うので詳細は各運営元に確認を)

(4) 広告掲載の有無は作者が設定できるようにして欲しい

作者が任意に選べることを検討している。

(5) 広告掲載・収益還元は二次創作の作品も含まれる？

初期段階では二次創作ページへの広告掲載は行わない予定。

その後はサイトの経過を見ながら関係者との調整も含めて検討していく。

投稿者にとって重要なのは (3) ですが、詳細は段階的に決定&発表されるようなので、今後経過を追っていきたいと思います。

ある日突然パソコンが起動しなくなった件。

でもまったく問題ないよ！

毎日バックアップ取ってるからね！

こんなことで慌てるらくだ様じゃないんだぜ！

と思って安直にリカバリーしたんですよ。

だがしかし。

いざ消えたファイルを復元しようと思ったらデータがない。

そんなわけでバックアップソフトの設定調べたら、保存先がクラウドじゃなく自身のCドライブになっていて、リカバリーと同時に何もかも全部吹っ飛びました本当にありがとうございました。

【らくだ図書館・完】

いや終わらないけど。

これからも続けるけど。

だけどほら、おままごとレベルと言われた原稿とか、捨てられた元旦那と撮った写真とか、カジノで負けて大赤字の家計簿とか、何もかも綺麗に消えたんだからショックじゃないですか。

あれ、いや、ちょっと待って？

よく考えたらショックじゃないな？

むしろ消えてくれて良かったんじゃない？

というわけで意図せず黒歴史を全消去できました。

パソコンが軽くなって動作もだいぶ快適になりました。

とりあえずバックアップ超大事。

こんな失敗をする人はいないと思いますが皆様も気を付けてください。

こんにちは、らくだです。

前回書いた通り、パソコンの故障で過去の原稿が消えたわけですが、カクヨムにアップしていた『激烈ワナビ戦』と『らくだ図書館カクヨム版』は無事でした。

まあ消えても困ることはないんですが、細かい文章はさておき内容自体は覚えてますからね。

それはさておき、本来の使い方ではないかもしれませんが、バックアップ目的でネット小説サイトを利用するのも1つの手だなあなんて思いました。

さてさて。
ネット小説といえば「小説家になろう」がリニューアルしました。

なろうのトップページは今までシンプルでしたが情報量が増えて華やかな雰囲気になっています。

【リニューアルのお知らせ】
<https://blog.syosetu.com/?itemid=4038>

開催中の賞が一覧で見られるのは便利ですね。
締切が記載されているのも地味に有り難い仕様です。

ちなみに今回のリニューアルはトップページのみ。
閲覧ページや執筆ページは今まで通りで変更はありません。

なお今回の変更は15周年企画の一環ですが、今後の予定として、リアルイベントの開催も告知されています。

なろうのリアルイベントは一体どんな感じなのか。
詳細情報が発表されたらまた紹介したいと思います。

第4回カクヨムコンの結果- 2019.05.29 Wed

こんにちは、らくだです。

第4回カクヨム Web 小説コンテストの結果発表がありました。

以下リンク。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【第4回カクヨム Web 小説コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu_web_novel_004

- ・ 応募総数 3,708 本
- ・ 最終選考 256 本
- ・ 受賞作品 34 本（大賞 4 本・特別賞 30 本）

同時開催の短編賞についても発表がありました。

こちらは初開催でしたが本体よりも多くの応募が集まった模様です。

【カクヨム Web 小説短編賞】

https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu_web_short

- ・ 応募総数 4,573 本
- ・ 最終選考 491 本
- ・ 受賞作品 3 本

たとえば電撃大賞なんかだと、長編が圧倒的多数で短編の応募は少ないですが、この逆転現象は個人的になかなか面白いなと感じました。

規定字数が 10,000 文字以下でしたからね。

ガチワナビではないライトユーザーの応募が集まった感じでしょうか。

ともかくこれだけ盛況だったわけなので、カクヨムコン本体はもちろん、短編賞の方も今後続いて欲しいと思います。

エクセルで入力していた家計簿が消えてしまったので、これを機にオンライン家計簿サイトを使い始めました。

ネットで管理すれば消えないからね！
ファイルを立ち上げる手間もないし一石二鳥！

とりあえずアプリで評価の高かった Zaim を使用することに。

【Zaim】

<https://zaim.net/home>

なお説明を読んでいたら「プロフィールを登録すると他のユーザーと比較できます」と書いてあったんですが。

経済状況を他人と比較……？
こんな事態になりませんか……？

「アイツ〇〇円しか持ってねえのかよ。クッソ貧乏だな。おいおい、今日の食費 100 円？ もやしでも食ってんのかwww」

やめてえええ！
いくらドMでも心が折れちゃうううう！

と思って詳しく調べたら、あくまで他ユーザーの統計データを参照できるだけであって、特定の相手の収入や支出を具体的に見られるわけではないようでした。

まあそりゃそうですね。
収支の状況が他人に見えたらプライバシーの侵害どころじゃないですし。

それはさておき、せっかく利用登録してプロフィールも設定したので、三日坊主にならないようしっかり続けようと思います。

こんにちは、らくだです。

募集休止中だったコバルトイラスト大賞が、サイトのリニューアルを機に、ウルトラパワーアップして帰ってきました。

以下リンク。

初回締切は8月末となっています。

【コバルトイラスト大賞】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/illust-award-apply/>

今回からお題が出されるようになりました。

実践的なプロの仕事を意識した取組のようです。

確かにプロになったら、この場面をお願いしますとオーダーされるわけなので、相手の要求に沿ったイラストをしっかりと描くのは重要なことですよね。

それはそうとお題が面白い。

むしろこのテーマで小説の募集をして欲しい。

要は架空の作品のタイトルとあらすじが載っているんですが、これがまた面白そうな内容で、私ならこの続きどう書くかなぁと真剣に考えてしまいました。

コバルトさん……！

この内容で小説の募集を是非……！

あとこういう形式だと、お題に対してどんなイラストが集まるのか、結果発表を見るのも一段と楽しみですよね。

女性向けレーベルのイラストは華やかですし、今回のリニューアルを機に、これまで以上に盛り上がって欲しいと思います。